

5 11 笑顔あふれる 楽しい催し さかえ公園

夏のような暑さと日差しの中、さかえ公園フェスタが開催された。オープニングは大竹一番太鼓の演奏。くるりん(おもちゃの交換会)やけん玉大会、木工のワークショップなど、たくさんの催しが行われた。大竹もぶりごはんやクレープなどの出店もあり、会場は多くの人で賑わった。

会場に訪れていた、川本愛来さん(大竹中3年)と沖菜摘さん(大竹中3年)は「手作りのかわいい小物が買えて満足です。おいしい物も食べることができて、とても楽しめました」と笑顔で話してくれた。



(上)大人気のくるりん(おもちゃの交換会)。おもちゃの周りには多くの人で賑わった。

(右)力強い演奏で観客を魅了した、大竹一番太鼓。
(下)木のお家にペイント。何色を使おうかな。



5 11 スポーツで広がる仲間の輪 総合体育館

今回で3回目の開催となった「障害者ふれあいスポーツ大会」。39人が出場し、玉入れやピンボウリングなどを楽しんだ。また、多くのボランティアも参加し、出場者と一緒に汗を流した。



(左)ピンボウリングで高得点を目指す。

(下)参加者が輪になってフォークダンス。全員笑顔で大会をしめくくった。



なくそう! 薬物乱用 大竹駅前

6 11

大竹高校生徒会、警察署、少年補導協助手連絡協議会、更生保護女性会が共同して、薬物乱用防止キャンペーンを行った。通勤、通学者に「ダメ。ゼッタイ。」と書かれたチラシとティッシュ300組を配り、薬物による被害の防止を訴えた。

生徒会の立花真優さん(2年)と坂井麻友美さん(2年)は「このキャンペーンを期に、薬物乱用する人が少しでも減ってくれたらいいです」と話してくれた。



「おはようございます」と元気なあいさつをしながら、積極的にチラシとティッシュを配った、大竹高校生徒会のメンバー。

催しに関する火災予防 条例の改正について

消防本部 ☎ 1048

平成25年8月、京都府福知山市の花火大会において、多数の死傷者を出す火災が発生したことに伴い、消防法施行令の一部が改正され、多数の者が集合する催しにおいて火気器具などを使用する際には、消火器を準備しなければならないことが追加されました。

また、この改正に併せて、大竹市火災予防条例について、消火器の準備に関する事項のほか、屋外での大規模な催しのうち火災発生時に消火や避難が困難になるおそれがあるものについては、その主催者に対し、防火担当者の選任や火災予防上必要な業務に関する計画の作成を義務付けることなどの一部改正を行います。

施行予定日

平成26年8月1日

※ 詳しくは、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。